

1.基本方針・スローガン

「みんなが」力いっぱい、勝利をめざすチーム

これまでも優れた選手の能力でトライを取った勝利に満足するのではなく、みんなが協力してトライを取り、守るラグビーを目指してきました。
 新しい仲間が加わって、足の速い子、大きい子、始めたばかりの子、いろいろです。
 ラグビーは「みんなでやる」スポーツ。困っている仲間がいれば「みんな」で助ける。できないプレーがあれば「みんな」で教え合う。
 勝利をめざす事とは、うまい子もまだの子も、今自分のできる事を、得意な事を「力いっぱい」ベストを尽くしてチームに貢献する事。
 きっとトライを取った事も取られた事も「みんなで」分かち合っただけですが、お父様、お母様の元に帰れるでしょう。そんなチームを目指したい。

2.全体目標

「1本とるぞ。」
 ～勝っていてもベストなもう1本、負けてても今度こそ1本。～

【①練習では、けがをしない、させない、正しい基本の習得】

【②試合では、勝ちにこだわる】

【③練習、試合を通じて、仲間を称える】

練習は、技術と戦術をみがき、自分(達)を高めるもの。試合は練習で培った自分(達)の力を試すもの。
 試合での「勝ち」に、「1本」にゴールを定めることでより練習、試合中の意欲を引き出すことができると思います。
 また、練習中、試合中に限らず、些細なナイスプレーを見つけ、認めあうことで自信を深め、「できた！」を楽しんでほしいです。

3.時期的目標・具体的目標

指導計画	【1月～3月】	【4月～5月東京都大会へ向けて】	【5月～7月(夏合宿前)】
・チーム全体の目標	・中学年カテゴリーの試合のスペース、ゲーム展開に対応する基礎を身に付ける。	・7人のポジションとロール ・セットピースのポジショニングとムーブ	・BDの支配
・身につけたい技術	①ボールハンドリング ・ボール把持 ・パス/キャッチ ・走り込みながらのキャッチのタイミング ・前に出ながらボールをさらに外に展開 ・6mパス、正確なランパスをテスト ②キック ・バントキック ・キャッチング ・グラウンドのボールの処理 ・バントキック、キャッチングをテスト ③コンタクト ・ストロングポジション ・パワーフット、バインド(タックルの時) ・低くヒット ・近いところへすばやくヒット ・すもう、レスリング	①FW～BKの各ポジションの理解 ・全員いろんなポジションをやりながら理解 ②キックオフ(A/D) ・ポジショニング ・落下地点へのランコース ・アタックの際、意図をもったキックオフ ・キッカーズバック、ラッシュ ③スクラム(A/D) ・オープンFW、ブラインドFWの動き ・フッカーのリード ・SHからSOのスピードを生かすパス ④ラインアウト(A/D) ・スローイング、キャッチング ・オープンFWの動き	①モール ・ヒット、ドライブ、ボールの保持 ・くさび、サポート ・割られない、ブレイクさせないバインド ・バインドしてプッシュ ・ピラーの位置でディフェンス ②ラック ・ダウンボール ・セキュリティポジション ・オーバーしてクリーンアウト ・割られない、ブレイクさせないバインド ③タックル ・プレス ・頭の位置、姿勢、バインド ・ダブルタックル(二人目はボールへ) ・タックラーはすぐ起きてボールへ
・実践してほしい態度や姿勢	・練習開始、試合開始の円陣を子供達主導で ・用具、集合などの規律 ・仲間へのリスペクト、声掛け ・練習日誌(できたこと、次やること)	・インターバルでゆっくりしないで早くセット ・声を掛け合ってポジショニング確認 ・SHからFWへBDへの指示 ・SOのラインへの指示、CTB、WTBの声	・イーブンボールへの勇気ある動きかけ ・タックルの自信(仲間の称える声が必要)
指導計画	【夏合宿】	【9月～10月】	【11月東京都大会】
・チーム全体の目標	・組織的ディフェンス ・展開、継続するアタック	・スピード	・基本の徹底 ・創造的なプレー
・身につけたい技術	①ディフェンスライン ・メイクライン(早く、ボール見て、ノミネート) ・ギャップを作らずラインを上げる ・BDサイドのピラー位置 ・ブラインドケア ・敵ペナルティ「チョンからゴー」対応 ④カウンター ・キックオフからのカウンター ・ダブルタックルからチョーク、カウンターラック ②サインプレー ・カットイン、FWで当ててから、CTB飛ばし ③2次攻撃 ・正確なダウンボール、ロングリリース ・BDでの早い球出し	①イーブンBDからの支配 ・集散 ・イーブンへの動きかけ ・バインドしてオーバー、スリーブ ・バインドしてモールドライブ ②各シチュエーションでの完成度を高める ・HBの連携 ・FW-キッカーの連携 ③各ポジションでの専門性を高める ・FW 動きだし早く ・HB 声の指示 ・WTBを活かす	①ゲームの支配 ・ゲームプラン ・相手の力量、隙を見抜く ・弱点の克服、カバー ・敵の攻め手に対応して消す ②新しい試みもトライしてみる ・キックオフ ・サインプレー ・ポジション
・実践してほしい態度や姿勢	・集団生活での規律と自制、年少者へのケア ・双方倒れた選手に手を	・積上げた技術、経験への自信 ・選手同士のコミュニケーションでプレー	・チームとしての勝利への執念、強い気持ち

4.備考

【課題①】経験、力量の差が大きいカテゴリーとなっているので練習のレベル、強度の難しさを工夫
 【課題②】3年生、4年生にふさわしい規律と主体性を引き出す